J.SPRINGS

取扱説明書
INSTRUCTION
メカニカル

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご愛用くださいますようお願い申しあげます。
なお、この取扱説明書はお手もとに保存し、必要に応じてご覧ください。

⚠警告	取扱を誤った場合に、重傷を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示しています。
⚠注意	取扱を誤った場合に、軽傷を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示しています。

ルミネッセンスについてのご注意とお願い

「ルミネッセンス」について
「ルミネッセンス」は、放射能等の有害物質を全く含んでいない、環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）物質です。
ルミネッセンスは太陽光や照明器具の明かりを短時間（約10分間:500ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約3〜5時間）光を放つ夜光です。
なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度（明るさ）は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際の回りの明るさや時計との距離、光の吸収度合により、光を放つ時間には多少の誤差が生ずることがあります。

〈照度データ〉　（目安値）
太陽光　〔晴天〕100,000ルクス
〔曇天〕10,000ルクス
屋内（昼間窓際）〔晴天〕3,000ルクス以上
〔曇天〕1,000〜3,000ルクス
〔雨天〕1,000ルクス以下
照明（白色蛍光灯40Wの下で）
〔1m〕1,000ルクス
〔3m〕500ルクス
（通常室内レベル）
〔4m〕250ルクス

製品仕様

●Y675、Y676
1. 機能:　3針（時、分、秒）・日・曜日
2. 振動数:　21,600振動／時間
3. 携帯精度:　常温（5℃〜35℃）において
日差＋45秒〜−35秒
4. 駆動方式:　ゼンマイ式（自動巻）
5. 使用石数:　21石

●YD02
1. 機能:　3針（時、分、秒）・日
2. 振動数:　21,600振動／時間
3. 携帯精度:　常温（5℃〜35℃）において
日差＋55秒〜−35秒
4. 駆動方式:　ゼンマイ式［自動巻（手巻付）］
5. 使用石数:　17石

※曜日表示のないモデルもあります。
※メカニカルウオッチの特性上、ご使用になる条件（携帯時間、腕の動き等）によっては、上記精度の範囲を越える場合があります。
※振動数とは、テンプの振動数を表します。
仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

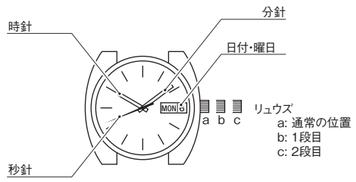
ご使用方法

自動巻き式機械時計の取り扱いかた

●Y675、Y676
・この時計は、自動巻き式機械時計です。
・ゼンマイは時計を腕につけた状態では通常の腕の動きで自然に巻くことができます。
・止まっている時計をお使いになるときは、時計を振って始動させてください。
秒針が動き出したら日付と時刻を合わせて腕におつけください。
・この時計は、ゼンマイを十分に巻き上げた状態で約40時間動き続けます。ゼンマイの巻き上げ不足は進み遅れの原因になりますので、1日8時間以上携帯されることをおすすめします。

●YD02
・この時計は、自動巻き式機械時計（手巻き付き）です。
・ゼンマイは時計を腕につけた状態では通常の腕の動きで自然に巻くことができます。また、リュウズをまわしてゼンマイを巻くこともできます。
・止まっている時計をお使いになるときは、時計を振って始動させてください。
秒針が動き出したら日付と時刻を合わせて腕におつけください。
・ゼンマイを巻く際は、リュウズを右方向（12時方向）にゆっくり回してください。なお、リュウズは左方向（6時方向）では空回りするようになっています。ゼンマイは巻き上げが完了しても空回りしますので、ゼンマイを巻き切る心配はありません。
・この時計は、ゼンマイを十分に巻き上げた状態で約40時間動き続けます。
ゼンマイの巻き上げ不足は進み遅れの原因になりますので、1日8時間以上携帯されることをおすすめします。時計を腕につけないでご使用される場合も毎日一定の時刻にゼンマイを十分に巻くことをおすすめします。

各部の名称



※リュウズ位置はモデルにより異なります。
※曜日表示のないモデルもあります。
※回転ベゼル、内点式回転ベゼルを装備したモデルもあります。

時刻の合わせかた

①リュウズを2段引き出します。
※リュウズが引き出せない（ねじロック式リュウズ）モデルは、リュウズを左に回してねじをゆるめ、リュウズを2段引き出します。
※秒針は止まりません。

②リュウズを回して現在の時刻に合わせます。
※午前・午後を間違えないように合わせてください。（日付は24時間に1度変わるように設定されています。）
※機械時計は、クオーツ時計と機構が異なりますので、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

③リュウズを押し込みます。
※ねじロック式リュウズのモデルは、リュウズを押しつけながら右に止まるところまでねじ込んでください。
※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

日付・曜日の合わせかた

①リュウズを1段引き出します。
※リュウズが引き出せない（ねじロック式リュウズ）モデルは、リュウズを左に回してねじをゆるめ、リュウズを1段引き出します。

②リュウズを回して前の日付・曜日にセットします。
※午後9時から午前4時までは日付を合わせないでください。この時間帯に日付・曜日を合わせますと、翌日になっても日付が変わらないことがありますので、この時間外に針を動かしてから日付を合わせてください。

●Y675、Y676　日付／曜日
●YD02　日付

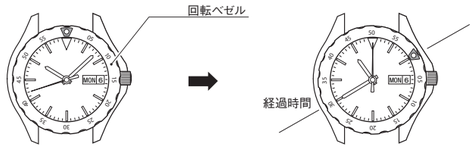
③リュウズを2段目まで引き出して、今日の日付・曜日になるまで針を回します。今日の日付に変わると「午前0時」です。さらに進めて現在の時刻に合わせます。

④リュウズを押し込みます。
※ねじロック式リュウズのモデルは、リュウズを押しつけながら右に止まるところまでねじ込んでください。

●月末の日付修正について
2月（1カ月が28日、うるう年は29日）と小の月（1カ月が30日）では日付の修正が必要になります。
【小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合】
①「1日」ではなく「31日」が表示されています。リュウズを1段引きます。
②リュウズを回して日付を「1日」に合わせたのち、リュウズを押し込んでください。

回転ベゼルの使いかた

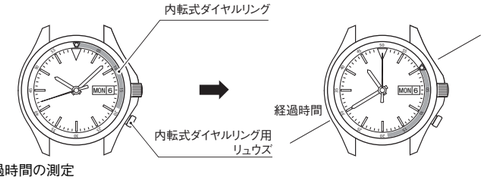
下図は、10時10分計測開始（▽位置）後、30分経過したことを示しています。



●経過時間の測定
回転ベゼルを動かし、▽マークを分針に合わせてください。ある時間が経過した後に、分針の示す回転ベゼル上の目盛を読めば、その時までの経過時間がわかります。
※回転ベゼルは、時計と逆まわりしか回転しません。また、クリック装置が付いていますので、目盛のセットがしやすいと同時にショックなどで不用意に回転することを防ぎます。

内転式回転ダイヤルリングの使いかた

下図は、10時10分計測開始（▽位置）後、30分経過したことを示しています。



●経過時間の測定
内転式ダイヤルリング用リュウズを動かし、▽マークを分針に合わせてください。ある時間が経過した後に、分針の示すダイヤルリング上の目盛を読めば、その時までの経過時間がわかります。

こんな時には

●時計が一時的に進む／遅れる
【考えられる原因】
暑いところまたは寒いところに長く置いた
→精度は常温に戻れば元に戻ります。
【考えられる原因】
磁気を発生するもののそばに置いた
→精度は、磁気の発生するものから放せば元に戻ります。元に戻らない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
【考えられる原因】
・落としたり強くぶつけたり、または激しいスポーツをした
・強い振動が加えられた
→精度は元に戻りません。お買い上げ店にご相談ください。
【考えられる原因】
3年を越える長期間、分解掃除による点検調整を行っていない
→お買い上げ店にご相談ください。

●時計が止まった
【考えられる原因】
ゼンマイが巻かれていない
→数回振れば動き出します。それでも動かない場合は、お買い上げ店にご相談ください。

●日付が日中に変わる
【考えられる原因】
時刻合わせが12時間ずれている
→12時間分、針を進めてください。

●ガラスのくもりが消えない
【考えられる原因】
・パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った
・水分がついたままリュウズを回したり、引き出したりした
→お買い上げ店にご相談ください。

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

使用上のご注意とお手入れの方法

●装着・携行等でご注意いただきたいこと

⚠警告
・携行時の転倒や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬけがを負う場合がありますのでご注意ください。
・乳幼児を抱いたりする場合は、時計との接触でけがを負ったり、アレルギーによるかぶれを起こしたりする場合がありますのでご注意ください。
・提げ時計やペンダント時計の場合は、ひもやチェーンによって大切な衣類や手、首などの身体を傷つけることがありますのでご注意ください。
・装着状態の動作によっては、時計が大切な器物と接触損傷したり、時計の故障となる可能性があるので取り扱いには十分ご注意ください。

⚠注意
・バンド中留部の構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

●日常のお手入れ

⚠注意
・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくと錆で衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因となりますので常に清潔にしてご使用ください。
・時計を外した時は、柔らかい布で汗や水分を拭き取るだけで、ケース・バンド・パッキンなどの寿命が違ってきます。
・化学薬品（ベンジン、シンナー、アルコール類、洗剤等の有機溶剤）で洗うと、化学変化で時計が劣化することがありますので、ご注意ください。
〈革バンド〉
柔らかい布などで水分を吸い取るように軽く拭いてください。こするように拭くと色落ちしたり、ツヤがなくなったりする場合があります。
〈金属バンド〉
柔らかい歯ブラシなどを使い、部分水洗いなどのお手入れをお願いします。洗浄後は吸湿性の良い柔らかい布で水分を十分にふき取ってください。非防水時計の場合は、時計本体に水分がかからないようにご注意ください。
〈軟質プラ製バンド〉
蛍光灯や太陽光の下に長時間放置したり、汚れが染み込んだりすることによって、色あせ・変色や硬くなったり切れたりする場合があります。特に、半透明のウレタン製のバンドは、変色が目立ちやすく、使用条件によっては数ヶ月で起こり始める場合があります。湿気の多い場所に保管したり、汗や水に濡れたまま放置しておくと、早く変化することがありますので、汚れた時は、石けん水で洗ってください。バンドは化学合成製品ですので、溶剤によっては変質することがありますのでご注意ください。

●かぶれやアレルギーについて

⚠注意
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
・かぶれやすい体質の人や、体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
・かぶれの原因として考えられるのは、
①金属・皮革に対するアレルギー
②時計本体やバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
・万一肌などに異常が生じた場合は、ただちに使用を中止して、医師にご相談ください。

●防水性能

時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用ください。

時計の防水表示	使用例 / 防水の水準		洗顔や雨など一時的にかかる水滴	水泳や水仕事など長時間水にふれる場合	空気ボンベを使用しないスキンダイビング	空気ボンベを使用する本格的な潜水およびヘリウムガスを使用する潜水（飽和潜水）	水滴がついた状態でのボタンの操作	水滴がついた状態でのリュウズの操作
WATER RESISTANTの表示のない時計	非防水		×	×	×	×	×	×
WATER RESISTANTの表示のある時計	日常生活用防水		○	×	×	×	×	×
WATER RESISTANT 5・10・15・20ATMの表示のある時計	日常生活用強化防水	5気圧防水	○	○	×	×	○	×
		10・15・20気圧防水	○	○	○	×	○	×

⚠警告
・日常生活用強化防水（10・15・20気圧防水）の時計は、飽和潜水や空気潜水には絶対に使用しないでください。
・日常生活用強化防水（5気圧防水）の時計は、素潜りを含め、すべての潜水行為には絶対に使用しないでください。
・日常生活用防水（3気圧）の時計は、水の中に入れてしまうような環境では絶対に使用しないでください。

⚠注意
・日常生活用強化防水の時計を海水等の環境下でのご使用後は、なるべく早く塩分などを洗浄しください。錆の原因となる場合があります。水道蛇口下での洗浄は、過度な水圧が加わり、防水不良の原因となる場合がありますので、容器内洗浄で過度な水圧が加わらぬように注意してください。
・革バンドは材質の特性上、水にぬれると耐久性に影響が出る場合があります。

●保管について

時計を使用しない時は、次の事項が、時計の破損や劣化、故障の原因等となる場合がありますのでご注意ください。
①「−5℃〜＋50℃からはずれた温度」環境下では、性能が劣化したり、停止する場合があります。
②直射日光の当たるところ、高温になるところ、低温にあるところに長時間置くと時刻精度の遅れや進みの原因となる場合があります。
③磁気の影響（テレビ、スピーカ、携帯電話、磁気ネックレス等）があるところに放置すると、時刻精度の遅れや進みの原因となる場合があります。
④強い振動のあるところに放置すると、破損や時刻精度の遅れや進みの原因となる場合があります。
⑤薬品の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置すると時計の劣化や破損の原因となります。
薬品例）ベンジン、シンナー、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ洗剤、接着剤、水銀、ヨウ素系消毒液、防虫剤など
⑥温泉入浴、殺虫剤の入った収納場所など、特殊な環境に放置すると時計の劣化の原因となる場合があります。
⑦長時間時計を外しておく時は、箱などに入れて、風通しのよい場所に保管することをお勧めします。

●定期点検について

・ながく安心してご愛用いただくために、2〜3年に1度程度の分解掃除による点検調整をおすすめします。
ご使用状況によっては、機械部の保油状態が損なわれていたり、油の汚れなどによって部品が摩耗し、時計の進み、遅れが大きくなることがあります。また、パッキン等の部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。分解掃除による点検調整をお買い上げ店にご依頼ください。
・部品交換の際は、「弊社指定の純正部品」とご指定ください。
・定期点検の際は、パッキンやバネ棒の新品交換も合わせてご依頼ください。